

### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m付近のトラフに対応する低気圧が、前線を伴って日本の東を北東進。
- ② 500hPa 5340m付近で-39℃以下の寒気を伴うトラフが中国東北区付近を南東進。
- ③ 500hPa 5640m付近で-27℃以下の寒気を伴うトラフが、華北を南東進。また、500hPa 5520m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが、アムール川上流域を南東進。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 11日は、1項①のトラフが切離低気圧となり、地上の低気圧はその直下に入って動きが遅くなる。低気圧の影響で強い風が吹き、波がうねりを伴って高くなりしける所がある。北日本では13日にかけて、東日本では12日は、強風や風雪、高波に注意。また、北海道地方では、低気圧の北側を回る湿った北よりの風の流入が続き、降雪が続いて大雪となる所がある。12～13日は、大雪による交通障害や着雪、なだれに注意。
- ② 1項②のトラフは、12～13日は寒冷渦となって、2項①の切離低気圧の周りを回るように沿海州付近から日本海を南下する。また、1項③の寒気を伴う2つのトラフは、12日夜から13日にかけて、南西諸島や西日本を通して日本の南に進み、日本海を南下する寒冷渦を取り込みながら、13日夜には伊豆諸島付近に進む。地上では、12日は南西諸島付近や伊豆諸島付近は気圧の谷となり、夜までに日本の南に低気圧が発生する。この低気圧は、13日は上層トラフに対応して前線を伴い発達しながら東北東進し、伊豆諸島付近に進んでトラフの直下に入る。低気圧や気圧の谷の影響で、強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなり大しけとなる所がある。伊豆諸島では13日は、高波に警戒し、東日本では高波に注意・警戒。全国的に、強風や高波に注意。
- ③ 2項②の上空寒気と低気圧や前線及び気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。伊豆諸島では13日にかけて、西日本と南西諸島では12～13日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、寒気の影響により、西～東日本では山沿いを中心に雪が降る所がある。降雪の強まりに留意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級)はない。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道5、東北4・関東・伊豆諸島・沖縄3m。
- ④ 高潮(明日まで)：北海道地方では注意報基準を超える所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。